



# 西幼だより

羽島市立西部幼稚園  
令和5年1月16日 No. 17  
園長 安藤賢治

## “命”と向き合う私 ～自覚を新たに～

令和5年の年明けです。皆様の年越し、迎春はいかがでしたか。  
わが子を中心にした団らんは、笑顔があふれてかけがいのないものだったことでしょう。

\* \* \* \* \*

～年の初めにあたり、今一度 確認したことがあります～

### 命いっぱい輝いて！

\* 昨年起きた事故・事件 ……教訓として“学ぶ”…

通園バスに置き去り

保育園・幼稚園で虐待行為

あってはならない！



↑ 友達の餅つきを応援  
～この輝き！～

＜どうして？ そんなことが 起きるの？＞

うっかりしていた？ ついつい？ いつもは違うのだけど？ …

言い訳は成立しません。ましてや、命が奪われてしまった。“取り返しがつかないこと”

＜虐待？ どうしてそんなことを？＞ ……不適切保育…

わかってほしかった？ こうしないとわからせることができないので？ しつけのつもりで？ …

子供が好きでなった職業…成長を喜ぶ先生だった…子供への愛情があった…**はず！**

➢ “愛情”のはき違え ➢ 子供のためより自分のため ➢ 感覚（人権）がマヒ

※学ばなければいけません…「他山の石」ではなく、「自分事」として…

生活の中に潜む ちょっとした 落とし穴

これで良い…の思い違い

？ 躰(しつけ)と称して行っている言動？

### ➢ “チェック”は 誰が？

「??」「それって、おかしいですよ。」と、疑問をもつことができるのは、身近な人です。

つまり、幼稚園なら [同僚職員] ご家族なら [夫婦間]

まずは、一声あげることです。

＜勇気をもって＞

～子供のために、正義を貫く～

現在、53名が通う西部幼稚園です。大切な命を預かっています。

新年にあたり、このことを 第一に 確認しました。

※保護者としても、「ちょっと…これは？」を感じられましたら、お伝えください。

➢ 今一度、この機に“心しておく言葉”があります。(岐阜新聞 R4/12/6 分水嶺より)

「子どもは だんだんと人間になるのではなく、すでに人間だ」  
子どもを尊重することは、大人が子どもに関わる出発点であるはずだ。